

就職内定率

昨年度は遂に、
頂に登り詰めました!!

100%



1 昨年度の就職状況及び本年度の取り組みについて

昨年度の就職状況は、地域的には地元の広島県への就職が約63%、それに続いて近畿、岡山県、関東がそれぞれ約6~9%です。業種別では医療、福祉業が約50%、卸売・小売業、サービス業が約22%、それに続いて製造業、教育が約7~9%です。また、金融業へも2.5%が就いています。このように、学んだ専門性を生かし、地元の備後を始め広範囲な地域へ就職していることがわかります。

平成28年以降、経団連が定める大卒採用の指針は、説明会が3年生の3月1日、採用選考が4年生の6月1日の解禁で、正式な内定日は4年生の10月1日以降(9月30日以前の内々定は、学生を拘束しない)となっています。ただ、好景気と人手不足の影響による「売り手市場」と言われる中、特に中小企業等では「採用難」であり、この指針は揺らいでいます。本学では、本年度もこのような状況を踏まえながら、従来どおり教職員が一丸となって、しかも、きめ細かい就職支援を実施し、昨年度同様、就職率100%を目標にして取り組みます。



2 キャリア教育の必要性和本学の取り組み

「キャリア」とは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見出していく連なりや積み重ね」のことを指します。そのため、キャリア教育は将来の目標を設定し、その実現のために必要な力を養うことを目的としています。一方で、人生100年時代の「新・社会人基礎力」も提唱されています。そこで、本学の学生には将来の自己実現を旨とし、「ありがたい姿」を描き、それを果たすために、4年間の大学での学びの中でキャリア形成を系統的に図るためのサポート体制をとっています。狭義のキャリア教育としての就職指導では、これまでの指導の結果が、昨年度の就職率100%実現に現れたものと理解しております。その具体的な中身は、授業では1・2年生で実施するキャリアデザイン入門、キャリアデザインI・IIがあり、3年生のキャリアデザインIIIではインターシップを実施し、企業で就業体験をします。3年生では授業外として「就職ガイダンス」を実施し、就活本番への備えを図っています。



3 学生への期待 ~大学生・大人としての自覚と確かな人生設計を!~

就職課から見える学生の姿は様々です。すでに就活に臨んでいる4年生は、職業選択等の相談や履歴書、エントリーシートの添削、また、面接指導を受けるなど、多様なニーズを持って就職課を積極的に訪ねて来ます。もちろん、指導体制充実のためにキャリアカウンセラーやハローワークからのジョブサポーターが、定期的に学生への対応に親身に当たってくださいます。

3年生の多くは、講義室で「就職ガイダンス」の際に出会うのですが、まだ「ありがたい姿」が絞り込めていないのか、社会人基礎力に課題を残している状態の学生を何人か見受けられます。いま、企業は人物重視、つまり面接試験を一層重視しています。そこで、特に、学内で出会った企業の方や目上の人には、進んで挨拶をしましょう。さらに、キャリア教育をとおして、自分を主体とした、自分だけの人生設計を力強く描き、行動目標につなげましょう。



4 保証人の皆様へのお願い ~学生の主体的行動を、共に支援しましょう!~

1、2年生の一部の学生には、社会についての現実感の希薄さや甘さが感じられます。3年生は、就活開始までに残された時間がもう7ヶ月となりました。特に、これから迎える夏季休暇等の機会に、ご家庭でも進路のことを話題にさせていただくとともに、挨拶等のマナーについても、時には厳しくご指導をいただきたいと思います。

また、4年生の保証人の皆様には、就職のミスマッチからの不本意な離職等为避免の意味でも、安易な進路選択に流れないよう、次の各事項について学生と十分話し合い、確認をしていただきたいと思います。

- 人生設計をする中で、生活の基盤を地元へ置くのか、又は都市部等に置くのか?
- 選んだ業種や職種は、どれだけ調べ、体験(インターンシップ等)・見学をして決めたのか?
- その会社で働く自分の姿をイメージしたとき、能力・適性からほんとうに実感が持てるか?
- 内定を確実に得るために、自己理解(強み・弱み、持ち味)の上で、履歴書等を作成したか?
- 複数の企業から内定を得たとき、自分は何を大切にしているのか自覚して、絞っているか?
- 進路決定の過程で、周囲(親、先生、就職課、先輩、友人等)の声に十分耳を傾けたか?

一人ひとりの学生が「生きる力」を身に付け、進路を実現するため、学生自身が主体となって行動を起こすような積極的な支援を、大学と保証人の皆様が手を携えて、進めていきたいと考えています。大学も「チーム平成大」として日々取り組んでいます。是非、ご協力をよろしくお願いいたします。

就職課 参事 能登 正雄



み
ゆ
き
レ
タ
ー



福祉健康学部子ども学科10周年記念行事を終えて

福祉健康学部子ども学科 永井 純子

今年度、子ども学科が開設10周年を迎えるにあたり、去る6月16日(土)に記念行事、記念講演、情報交換会を開催し、保育・教育に関わる多数の方々にご臨席を賜りました。

記念行事では、学校法人福山大学鈴木理事長から、「学校法人福山大学としてできることは、子ども学科を含めた両大学の魅力をさらに向上させることであり、より多くの高校生に選ばれる進学先となり地域に貢献したい。」と挨拶があり、次いで坪井学長から日頃お世話になっている皆様へ御礼の言葉が述べられました。その後、子ども学科永井が「子ども学科の変遷と今後の展望」と題し、子ども学科の沿革及び概要について説明しました。

記念講演には、東京工業大学名誉教授、環境デザイン研究所会長仙田満先生をお迎えし、「子どもを育む環境」を演題として、ロバート・フルガムの『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』の言葉を皮切りに「遊びは学びである」とが強調され、「子どもを育む遊び環境」についてご講演頂きました。

また、これまでに手掛けられた魅力的な保育園や幼稚園を多数ご紹介頂きました。日本建築家協会賞を受賞された国際教養大学図書館、そして私たちにとって馴染み深い広島市民球場(マツダスタジアム)も仙田先生の設計によるものです。

情報交換会では、学校法人福山大学清水厚實総長よりご挨拶を頂き、改めて地域の方々、大学関係者の皆様に対する感謝の意が述べられました。次いで、福山市教育委員会員の三好雅章教育長、福山市私立認可保育施設協会の足利義信理事長、福山市私立幼稚園協会出原慎之副会長から祝辞を頂き、福山平成大学田口則良名誉学長の乾杯の音頭のもと開宴となりました。記念行事には11名、情報交換会には97名の参加者があり、大盛況の中、子ども学科開学10周年記念行事、情報交換会が無事終了しました。

最後になりましたが、この10年間ご支援ご協力いただきました関係機関、関係者の皆様、地域の皆様にごの場をお借りして心からお礼申し上げます。



▲福山平成大学学長 坪井始



▲学校法人福山大学理事長 鈴木省三



▲東京工業大学名誉教授、環境デザイン研究所会長 仙田満氏による講演風景

新入生 合宿オリエンテーション報告 Orientation CAMP

経営学科

1年 竹本 晃也



私は新入生合宿オリエンテーションで、ふくやまふれ愛ランドに行ってきました。経営学科の合宿では、初対面の新入生同士や先輩方とグループを作り、コミュニケーションを取りながら課題解決に取り組むグループワークを行いました。グループワークを通じて、初対面の人に自分のアイディアを分かりやすく伝えることの難しさを実感し、また、言葉遣い等で気を遣うこともあり、大変な面もありました。

うまくコミュニケーションを取ってゆくには、コミュニケーションが上手な人を見つけ、その人の良いところを真似て、それを応用してゆくことが大切だと学びました。また、新生活の中で、バイトやボランティア活動の際、積極的に「初対面」の状態に身を置き、コミュニケーション能力の向上に取り組むたいと思います。この合宿で、学科の人達と仲良くなれたのは収穫でした。大学生活の中で、さらに友達との仲を深めてゆきたいと思います。

福祉学科

1年 楠見 碧衣



入学してすぐに行われた一泊二日の合宿オリエンテーションに参加しました。1日目は新入生と先輩の自己紹介からはじまり、フルーツバスケット、それにお金釣りゲームをしました。グループに分かれて作業することがあったので、自然と協調性が生まれてきました。その後、チームに分かれてバレーボールをしました。みんなで声をかけ合いながら楽しむことができました。2日目はドッジボールと飯盒炊飯をしました。ドッジボールではチームワークを発揮してがんばり、飯盒炊飯ではみんなで美味しいカレーライスを作ることができました。

この2日間は、新入生みんなで協力し合うことが多かったため、終わるころには1年生みんなの団結力が生まれていたと思います。先輩とのつながりや学科のみんなとの協力を大切にしながら、これから4年間の大学生活を頑張っていこうと思います。

健康スポーツ科学科

1年 中野 雄大



私は楽しみや期待より不安な気持ちのほうが大きいま、今回の合宿オリエンテーションに参加しました。入学式の翌日に行われることを知った時、「なぜ次の日なのだろう。周りの人に気を使えばかりで疲れそう。」という気持ちがありました。しかし、合宿オリエンテーションではアイスブレイクなど同じ学科の人と打ち解けあえるプログラムが沢山組まれており、自然と仲良くなって話していたり、みんなで風呂に入ったりと気づかないうちに友達が増えていました。初めてあった人同士だとは思えないほど気を使わず気軽に話することができるようになりました。

合宿オリエンテーションを終え、このようなプログラムを考え、サポートしていただいた先輩方に感謝しています。また、今回参加したことで、私も学生リーダーになりたいと強く思うようになりました。後輩たちの中にも私と同じような思いで合宿オリエンテーションに参加する人がいると思うので、私たちがしていたことを後輩たちにもしたいと思いました。そして、合宿オリエンテーションが大学生活の最初のいい思い出になるといいなと思いました。

こども学科

1年 黒瀬 滯蘭



4月6、7日にツネイシシなみビレッジでの新入生合宿オリエンテーションに参加しました。参加する前は、友達ができるか、うまくみんなと打ち解けることができるかどうか、とても不安でした。合宿所に着いて、まずお昼ご飯を食べました。各班で円になり、自己紹介や他愛もない会話をする中で、すっかり不安もなくなり、とても楽しい気持ちになりました。お昼休憩も終わり、いよいよレクリエーションの始まりです。レクリエーションでは、大縄跳びや王様ドッジをして体を動かしました。各班対抗で行ったため、「絶対勝つぞ!」という気持ちでみんなの心が一つになり、絆が深まりました。

2日目は、履修登録をしました。先輩のサポートのもと、履修登録がどのようなもので、時間割をどう組んだらいいのかを知ることができました。

この2日間で私は、先輩の後輩に対する思いやりを感じました。先輩は、私たち後輩のことを一番考えてくださり、優しい声かけやサポートする姿はとてもかっこよく、私もこんな先輩になりたいと思った2日間でした。

看護学科 1年 原野 結菜



話せるようになった友達がまだ一人の中、合宿オリエンテーションを迎えました。その一人とグループや部屋が違いため、とても不安と緊張でいっぱいでした。しかし、グループの人たちはとても優しく面白くて、すぐに仲良くなることができました。部屋の人たちも気軽に声をかけてくれたので、不安にならなくて良かったです。これからの大学生活を一緒に頑張ろうと思えました。大縄とフルーツバスケットでは、先輩たちの話の上手さやコミュニケーション力に感動しました。私は大勢の前で司会や何かをしたりすることがとても苦手で、高校時代は少し苦労しました。大勢の前でも笑顔で楽しそうに話している姿を見て、自分もあんな風になりたいと思いました。

また、キャンドルサービスを通して、自分が将来看護師になるための勉強をしにきたことを改めて実感しました。福山市で4年間過ごし、看護師になれるよう頑張ります。

健康スポーツ科学科 オーストラリアとの国際交流



健康スポーツ科学科が開設された当初からグローバル教育の重要性を認識し、専門教育の中に異文化教育を取り入れてきました。その中で、オーストラリアのスポーツ医学協会(SMA Sports Medicine Australia)と正式に協定を結び、毎年、キャンベラにあるスポーツ科学研究所(AIS: Australian Institute of Sport)・オリンピック選手を養成する機関で研修を受けるプログラムを提供しています。交流事業が10年を経過し、このような取り組みが更に広がっています。その一つがキャンベラ大学との交流です。キャンベラ大学は、オーストラリア国内のスポーツ医学分野においてトップクラスの大学でAISと連携を取りながら教育・研究を進めています。こういった同じ学問分野の大学から、毎年7月に本学に学生が訪れ交流を深める取り組みを行っています。キャンベラ大学の学生たちが本学の授業に参加したり、学生と食事をともにしたりと様々な交流があり、当初の目的であった専門教育を通じて異文化理解を深めるといったことが実践されています。

教授 石橋 勇

こども学科 地域に根ざした 野外教育研修 子どもとお茶摘み



もちもちとしてきた！
いい香り♪

一芯三葉でお茶摘み



子どもを取り巻く環境の急速な変化に対応し、小学校等において、地域に根ざした野外体験活動をリーダーとなって創り出せる理論と実践力を身につける「保育・教育実地研究(野外)」を新設しました。

講義では、小学校の生活科・社会科・理科・特別活動・総合的な学習や、保育園・幼稚園の環境領域において、どのように子どもに寄り添い、どのような出会い・探究・問題解決の場を創り出せば子ども達が地域の自然・文化・人々の魅力や課題と、より深くつながり、豊かに学び、確かに育つのかについて、実際にそのような場で子ども達と関わったり、互いの経験をふりかえって気づきを深め合ったりしています。

今回は、三次市のほしはら山のがっこうの協力を得て、子ども達とお茶摘みやお茶づくりをしました。学生達は、お茶畑への道中、子ども達の手のひらサイズのオタマジャクシに驚いたり、生き抜くための多様な個性を持つ草花達で遊んだりする中で、子ども達が豊かに学び、確かに育つ、その輝きに目を見張り、何気ない道端も大切な野外体験活動の場であることを実感していました。

楽しさだけでなく、お茶を創り出す大変さ、多くの生き物と人々が織りなす文化的景観の良さ、それらが消滅しつつあることへのもどかしさを体験的に学び、その場づくりのあり方を考えました。

准教授 西川 京子

Topics 学科トピックス

福祉学科

平成30年度高大連携協定事業



福祉学科では、高校生とともに福祉を考える「体験型出張講座」を企画しています。

「目」は「福祉用具・介護食講座」で、福祉用具を手に取り介護食を試食して学びます。5月には戸手高校で出張講座を開きました。高校生にとって、介護食のハンパングやパン、肉料理を口にしたのは初めての経験だったようです。食事をした後、味や見た

経営学科

地元企業の新商品ネーミング企画



ブランド・マーケティング活動に対する考え方についてお話を伺いすることができました。そして、「なんと!!」ネーミングをする新商品を実際に試食させていただきました。その後、学生たちはグループ毎にネーミング案を考え、翌週の授業ではネーミング提案報告会を行いました。その結果は、提案書として同精肉店様に提出させていただきました。

公募であったことから、残念ながら実際に採用されたのは学外の方の案でしたが、この授業の中で本学学生が提案した「151(期一会)」という案が見事2位に選ばれました。学生からは「直接話を聞くことや、実際に食べることが大切だと思った」「お客さんの立場でなく、企業側の視点でモノをみることで良い経験になりました」などの感想が寄せられ、大変有意義なものとなりました。また機会があれば、このような授業を企画していきたいと思っています。

助教 兎内 祥子

看護学科

一日看護大学生体験プログラムを実施して



参加したいと思った「絶対看護師になるう」と思っていました。来週良かったです。進路に向けて迷っていたので、参考になりました。ナース服が着れたことで、モチベーションが上がったという感想をいただきました。この体験を通して「看護」について考え、「看護」の魅力を感じて、進路を考えるひとつのきっかけになったのではないかと思います。

講師 藤原 弘子

私の担当する「マーケティング」の授業において、有限会社池口精肉店様のご協力のもと、新商品のネーミング企画に参加させていただきました。これは、同精肉店様が公募されていた新商品(ソーセージカツ)のネーミングについて、この授業を履修している学生たちにも考えてもらうというものです。

5月より約1か月、この授業の中で、この募集企画に取り組んできました。5月22日(火)の授業では、実際に、同精肉店様の池口峻平様(企画室長)をお迎えした特別講義を行いました。ここでは、池口様より、今回のネーミング企画の説明に加えて、経営理念やブランド・マーケティング活動に対する考え方についてお話を伺いすることができました。そして、「なんと!!」ネーミングをする新商品を実際に試食させていただきました。その後、学生たちはグループ毎にネーミング案を考え、翌週の授業ではネーミング提案報告会を行いました。その結果は、提案書として同精肉店様に提出させていただきました。

目、触感等を話し合いました。介護食はドロドロとしたイメージだったけれど、そうではなかったことに驚いたといった意見が寄せられました。また、食事を楽しむ環境として大切なコミュニケーションについても取り上げ、コミュニケーション型介護ロボットに触れることで、福祉分野で活躍するとロボットを知る機会となりました。

二「目」は「災害福祉講座」で、災害時における福祉の視点を学びます。災害時には多くの人が同時に、そして様々な支援を必要とします。そのときの福祉の役割を、HUG(避難所運営ゲーム)を用いて災害時に起こる出来事を追体験し学んでいきます。9月には神辺高校で実施予定です。

准教授 岡部 真智子

講師 牛田 篤

■ テーマ

2025年問題を考える

■ 日時 全5回(9月13日、20日、27日、10月4日、11日)
18:30～20:00

■ 会場 福山平成大学 7号館大講義室

■ 受講対象者及び定員 一般市民 250名

■ 受講料 無料

2025年というのは、団塊の世代が75歳を超える年を指します。

今後の日本が高齢化に対応するために考え出されるさまざまな問題を、各講師が考え、提言します。

福祉学科の岡部准教授から「高齢期に安心して住み続けられる住まいとは」、経営学科の渡邊講師から「地域マネジメントにおけるマーケティング思考の可能性」、こども学科の西川准教授から「『2025年問題』との付き合い方」、健康スポーツ科学科の河野講師から「スポーツと“Ikigai”-2025年を受け入れる-」、看護学科の長野准教授から「人生100年時代を見据えた健康づくり」を計画しました。

第1回 9月13日 高齢期に安心して住み続けられる住まいとは

福祉学科 岡部 真智子 准教授

2025年は、高齢者世帯の7割が単身・夫婦のみ世帯となると予想されています。人口減少に伴う過疎化や空き家の増加といった地域が抱える問題も人の生活に影響を及ぼします。加齢に伴う体力低下や持病、介護と付き合いながら、安心して暮らしていくためには、今の住まいをどう工夫するのか、またどのような住まいを選べばよいのか、今から知っておくことは大切です。自宅に長く住み続けるための工夫、施設や自宅以外のさまざまな住まいの実例、安心して住み続けられる地域とはどのようなところなのか、皆さんの一人ひとり答えが違う問いに、具体的な事例をご紹介しながら、答えのヒントを見つけていきたいと思います。

第2回 9月20日 地域マネジメントにおけるマーケティング思考の可能性

経営学科 渡邊 正樹 講師

今やマーケティングとは、企業だけのものではありません。マーケティングというと、企業の商品開発や広告に関する話だと思っている方が多いかもしれません。確かに、一昔前まではそうでした。ところが近年、マーケティングが取り扱う領域は、徐々に拡大しつつあるのです。高齢化や過疎化といった、多くの地域で課題となっている問題に対しても、マーケティング固有の思考法が力を発揮しうることが明らかになっています。例えば、地域をより住みやすいものにするためには、その地域に関わる様々な立場の人達のニーズを把握しなければなりません。あるいは、地域に誇りを持つ住民を増やすためには、その地域が持っている固有の価値を、ヨソモノである他の地域の人達にも理解してもらう必要があるでしょう。この「様々な立場の人達のニーズを捉える」「他者に自らの価値を伝える」というのは、まさにマーケティングという学問が主題としてきたテーマなのです。本講義では、地域のマネジメントにおいて、このようなマーケティング思考が持つ可能性について、皆さんとともに考えていきます。

第3回 9月27日 「2025年問題」との付き合い方

こども学科 西川 京子 准教授

「2025年問題」というと、少し先のことに感じられるかもしれません。しかし、大学や企業の社員研修を含む教育の世界は、2025年に向けて今この時も着々と変わりつつあります。なぜなら、教育は、一人ひとりの自己実現、すなわち、どのような問題に直面しようとも、人々がそれぞれの持ち味を大事にしながら、その人なりに生き生きとより良い生活や社会を創り出していけるようにすることを最終的な目的として営まれているからです。2025年には少子高齢化、グローバル化、情報化が急速に進み、今まで当たり前だった暮らし方や働き方が大きく変わります。そのような社会で、あなた自身や、将来あなたの仕事や遺伝子を継ぐ次世代の子ども達が、どのような資質を身につければより自分らしくより望ましい社会生活を送れるのでしょうか？本講座では、「2025年問題」に向けて、皆さんが教育界や社会の動向を知って、それぞれの生き方、在り方を考える機会を提供します。

第4回 10月4日 スポーツと“Ikigai”-2025年を受け入れる-

健康スポーツ科学科 河野 洋 講師

来る2025年に向け、多くの分野が迫りくる問題に「抗う」ことを模索しています。スポーツ分野でも、医療費の増加や体力低下に抗う手段として様々なアプローチが展開されています。しかし、社会や人々の生き方の変化に抗うことばかりが、将来に求められるスポーツの姿なのでしょうか。一点着目すべきは、貧困の社会でも戦争の時代においても、人類の営みの中には常にスポーツが存在してきたことです。そこからは、スポーツが困難な状況や自身の生を「受け入れる」活動となってきたことが推察されます。

近年、社会や自己を受け入れる生き方のコンセプトとして、世界的に注目されている言葉があります。それが、「Ikigai」(生きがい)です。本講義では2017年に催されたスポーツ系学会での講演内容を引用し、スポーツにみられる“Anti”と“Ikigai”との言説を参照しながら、スポーツを通じて2025年の到来を受け入れることの意味を考えます。

第5回 10月11日 人生100年時代を見据えた健康づくり

看護学科 長野 扶佐美 准教授

2025年問題とは、「団塊の世代が75歳以上になることで起こると予測される様々な問題」を指しています。2025年時点で、国民の3人に1人が65歳以上、さらに5人に1人が75歳以上になると予測されています。高齢者の方が増えれば、必然的に医療や介護のニーズは高まってきます。当然、高齢者の方々やそのご家族は、医療機関や介護施設、在宅など、医療や介護をめぐる状況はどうなっていくのだろうと不安が強くなっていきます。世界中、どこの国も体験したことのないような状況に、今から私たちは備えなければなりません。安心して老後が過ごせるよう、どのように自分自身の健康を維持するのか、最後まで自宅で住み続けるための地域づくりをするにはどうしたらよいのかを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

平成30年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金、科学研究費補助金)採択一覧

所 属	職 名	氏 名	研 究 種 目	研 究 内 容	研 究 期 間	交付金額
経 営	教 授	小 玉 一 樹	基盤研究(C)	雇用形態の多様化が集団及び組織に及ぼす影響に関する研究	平成29年～平成31年度	120万円
〃	〃	市 瀬 信 子	基盤研究(C)	清朝康乾年間における杭州詩人集団の詩会活動と地方文献編纂に関する研究	平成29年～平成31年度	320万円
福祉健康	准教授	岡部真智子	基盤研究(C)	地域包括ケアシステム下における高齢者向け居住支援の方策	平成29年～平成31年度	260万円
〃	〃	杉 本 浩 章	基盤研究(C)	地域包括ケア時代の看取りと専門職間協働	平成29年～平成33年度	340万円
〃	教 授	山 崎 洋 子	基盤研究(C)	イギリス新教育における「女子・女性教育論」とジェンダーに関する思想史的研究	平成29年～平成31年度	260万円
看 護	講 師	佐 竹 潤 子	挑戦的萌芽研究	子どもの夜間受診の現状と親の対処能力	平成28年～平成30年度	85万円

■ 平成30年度マナー向上キャンペーン実施報告 ■

平成30年5月22日～5月25日に、学生、教職員のマナーの向上を図るため、学友会、学科選抜学生、サークル、教員、職員が協力してキャンペーンを実施しました。

22日～24日は学内でポケットティッシュとチラシを配付しマナー向上の啓発に努め、最終日は、大学周辺の歩道を清掃しました。

学友会長より趣旨と実施について説明があり、学内の啓発に努めました。



最終日は、学外を清掃をし、地域に貢献しました。



平成30年度 保証人懇談会の開催

福山平成大学では、保証人の皆さまと大学との連携を深め、学修、学生生活及び就職支援の充実を図ることを目的として、「保証人懇談会」を毎年8月下旬～9月上旬に開催しております。

この「保証人懇談会」では、午前中に大学の近況の報告と学生生活、就職等の全般的な説明を行い、午後からは、ご子供の成績票をもとに本学教員との個別懇談を行います。

保証人の皆さまには、ご出席下さいますようお願いいたします。また、この機会が、出席いただいた保証人相互の交流の場にもなれば幸いに存じます。

保証人懇談会開催日程

対象：全学部

	開催日	開催地	会場
地方会場	8月19日(日)	福岡	福岡ガーデンパレス
	8月19日(日)	広島	広島ガーデンパレス
	9月 8日(土)	松江	サンラポーむらくも
	8月19日(日)	松山	ホテルサンルート松山
	9月 3日(月)	沖縄	サザンプラザ海邦
本学会場	8月25日(土)	福山	福山平成大学
	8月26日(日)	福山	福山平成大学



福山平成大学 学長杯争奪競技大会報告

5月15日は、福山平成大学の開学記念日です。この日は、全学休講となるため、毎年、学長杯争奪競技大会が開催されています。

今年も、ソフトボールと、ソフトバレーボールの競技が行われました。

当日は、ソフトボールには9チーム、ソフトバレーボールには10チームのエントリーがあり、天候にも恵まれ、暑い中、熱き戦いが繰り広げられました。

競技の結果

ソフトバレーボール



優勝 こども学科B

ソフトボール



優勝 スポーツ健康科学科A



平成30年度 サークル活動記録

2018/7/20現在

男子バレーボール部

第87回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会

4/21～5/13 岡山大学津島キャンパス 他

1部2位(9勝1敗) 個人賞 敢闘賞 迫田 郭志 (健スポ4)
スパイク賞 西本 圭吾 (健スポ2)
レシーブ賞 小山 敦己 (健スポ4)

第62回中国四国学生バレーボール選手権大会

5/25～28 岡山大学清水記念体育館 他

準優勝

2018年度 第44回西日本バレーボール大学男子選手権大会

6/28～7/1 広島県立総合体育館

ベスト8

平成30年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会広島県ラウンド

7/14～15 広島県立総合体育館

優勝 福山平成大学A ※平成30年天皇杯中国ブロックラウンド出場決定
2位 福山平成大学B

女子バレーボール部

第87回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会

4/21～5/13 岡山大学津島キャンパス 他

1部5位 ※入替戦有り

第62回中国四国学生バレーボール選手権大会

5/25～28 ノートルダム清心女子大学第一体育館 他

ベスト8

2018年度 第44回西日本バレーボール大学女子選手権大会

6/27～30 ベイコム総合体育館 他

予選グループ戦敗退

陸上競技部

第57回全日本競歩輪島大会

4/14～15 輪島市マリンタウン競技場

12位 池田 未央 (健スポ2)

第37回愛媛リレーカーニバル

4/29 愛媛県総合運動公園陸上競技場

5000mW 決勝 1着 池田 未央 (健スポ2)

第72回中国四国学生陸上競技対校選手権大会

5/11～13 高知県立春野総合運動公園陸上競技場

男子 200m 決勝 3位 濱元 大弥 (健スポ4)
決勝 4位 山下 雄大 (健スポ2)
3000mSC 決勝 26位 大崎 侑士朗 (健スポ2)
4x100mR 決勝 7位 藤本 達也 (健スポ4)・山下 雄大 (健スポ2)
大坪 柊也 (健スポ2)・濱元 大弥 (健スポ4)
走 高 飛 決勝 21位 花屋 佳明 (福祉1)
三段跳 決勝 18位 野口 尚樹 (健スポ3)
砲丸投 決勝 21位 川田 佳次 (健スポ3)
決勝 22位 長野 拓海 (健スポ4)
円盤投 決勝 24位 長野 拓海 (健スポ4)
十種競技 決勝 7位 小豆澤 徹 (健スポ4)
決勝 14位 開内 丈流 (健スポ1)
女子 800m 決勝 5位 林 沙知 (健スポ2)
1000mW 決勝 5位 池田 未央 (健スポ2)
円盤投 決勝 5位 渡邊 彩 (健スポ2)
決勝 12位 井上 美雅 (健スポ3)

第39回中国四国私学大学対校陸上競技選手権大会

6/3 岡山県笠岡陸上競技場

男子 200m 決勝 1位 濱元 大弥 (健スポ4)
決勝 3位 山下 雄大 (健スポ2)
決勝 4位 檜垣 正昭 (健スポ1)
400m 決勝 6位 貫井 大聖 (健スポ2)
800m タイムレース4位 大崎 侑士朗 (健スポ2)
タイムレース6位 三輪 航平 (健スポ1)
タイムレース7位 久保 大地 (健スポ2)
4x100mR 決勝 3位 檜垣 正昭 (健スポ1)・大坪 柊也 (健スポ2)
山下 雄大 (健スポ2)・濱元 大弥 (健スポ4)
走 高 跳 決勝 4位 花屋 佳明 (福祉1)
走 幅 跳 決勝 10位 野口 尚樹 (健スポ3)
決勝 14位 小豆澤 徹 (健スポ4)
三段跳 決勝 2位 野口 尚樹 (健スポ3)
砲丸投 決勝 8位 川田 佳次 (健スポ3)
決勝 9位 長野 拓海 (健スポ4)
やり投 決勝 7位 水成 昂聖 (健スポ2)

男子総合3位

女子 100m タイムレース10位 戸谷 伊緒梨(こども2)
800m 決勝 1位 林 沙知 (健スポ2)
400mH 決勝 4位 菊本 佳那 (こども2)

ソフトテニス部

第40回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会

第62回中国学生ソフトテニス優勝大会

第20回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会

5/2～6 岡山市浦安総合運動公園テニスコート

男子団体 4位(3戦2勝)

女子団体 優勝(5勝0敗)

※平成30年全国日本大学ソフトテニス王座決定戦(6/21～24穴生ドーム)出場決定

男子ダブルス 2位 尾崎 元 (健スポ4)・小川 友貴 (健スポ3)ペア

3位 山田 泰誠 (健スポ3)・岡崎 健也 (健スポ4)ペア

女子ダブルス 優勝 多胡 美有紀(経営4)・足羽 明伊未(健スポ4)ペア

2位 難波 歩 (健スポ4)・小林 碧唯 (健スポ3)ペア

3位 柴原 香琳 (こども1)・大田 瑞稀 (看護1)ペア

男子シングルス 2位 高岡 統星 (健スポ2)

3位 小川 友貴 (健スポ3)

第38回全日本大学ソフトテニス王座決定戦

6/21～24 穴生ドーム

女子団体 予選リーグ戦敗退

女子ダブルス 2回戦敗退

柴原 香琳 (こども1)・横田 亜季 (健スポ2)ペア

足羽 明伊未(健スポ4)・大田 瑞稀 (看護1)ペア

女子ダブルス 1回戦敗退 宇治田 芽衣(健スポ4)・原 萌乃香 (健スポ2)ペア

軟式野球部

第13回中国地区大学軟式野球連盟新人戦

6/16～17 広島市立大学・岡山県立大学

優勝

テニス部

平成30年度春季中国四国学生テニス選手権大会

5/19～27 広島大学テニスコート

男子シングルス ベスト16 熊田 尚登 (健スポ2) ※インカレ予選出場決定

ダブルス ベスト32 石原 侑 (健スポ4)・熊田 尚登 (健スポ2)ペア

女子シングルス ベスト32 小林 玲奈 (健スポ2)

金満 菜々子(看護2)

堀 友佳 (健スポ3)

ダブルス ベスト8 小林 玲奈 (健スポ2)・金満 菜々子(看護2)ペア

水泳部

第53回中国四国学生選手権

6/9～10 JAバンクちよきんぎょプール

男子100m背泳ぎ 決勝 8位 池田 和輝 (健スポ2)

200m背泳ぎ 決勝 6位 池田 和輝 (健スポ2)

400mフリースタイル 決勝 12位 藤 京雅 (健スポ1)・細川 海斗 (看護2)

池田 和輝 (健スポ2)・梅野 史章 (健スポ3)

400mメドレーリレー 決勝 14位 藤 京雅 (健スポ1)・細川 海斗 (看護2)

池田 和輝 (健スポ2)・梅野 史章 (健スポ3)

女子100m自由形 決勝 4位 奥山 果歩 (健スポ4)

200m自由形 決勝 5位 福澤 佳子 (看護4)

100m背泳ぎ 決勝 4位 木村 美月 (健スポ2)

100mバタフライ 決勝 5位 大塚 汐莉 (健スポ1)

200mフリースタイル 決勝 3位 大塚 汐莉 (健スポ1)・掛谷 優香 (看護2)

福澤 佳子 (看護4)・奥山 果歩 (健スポ4)

200mメドレーリレー 決勝 5位 大塚 汐莉 (健スポ1)・掛谷 優香 (看護2)

福澤 佳子 (看護4)・奥山 果歩 (健スポ4)

2018年(平成30年)日本室内選手権飛込競技大会

6/13～17 東京辰巳国際水泳場

女子1m飛板飛込競技 優勝 藤原 蒼 (健スポ1)

第49回中国四国学生選手権水泳競技大会

7/7～8 広島市総合屋内プール・ひろしんビッグウェーブ

女子400m自由形 1位 福澤 佳子 (看護4)

800m自由形 1位 福澤 佳子 (看護4)

シグマソサエティ

夏季献血活動

6/19 福山平成大学ピロティ

御幸太鼓部

子守唄の里高屋2018ふれあい祭り

6/23 井原線子守唄の里高屋駅前

学友会執行部

夏季献血活動

6/19 福山平成大学ピロティ

資借対照表		(平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位:円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	59,378,553,491	固定負債	2,211,909,832
有形固定資産	28,413,451,606	長期借入金	407,070,000
土地	6,885,223,494	退職給付引当金	1,744,965,708
建物	13,838,349,343	長期未払金	59,874,124
構築物	741,035,399	流動負債	2,714,916,863
教育研究用機器備品	2,171,034,546	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	34,156,552	未払金	117,120,801
図書	4,728,838,626	前受金	2,434,215,438
車両	12,830,247	預り金	115,820,624
船舶	1,983,399	負債の部合計	4,926,826,695
特定資産	30,928,303,479		
第2号基本金引当特定資産	3,700,000,000	純資産の部	
退職給付引当特定資産	1,745,016,830	科目	金額
減価償却引当特定資産	15,494,923,708	基本金	53,398,658,311
校舎建設等引当特定資産	4,575,757,976	第1号基本金	49,291,658,311
創設準備引当特定資産	5,412,604,965	第2号基本金	3,700,000,000
その他の固定資産	36,798,406	第4号基本金	407,000,000
電話加入権	3,048,426	繰越収支差額	6,701,833,843
施設利用権	600	翌年度繰越収支差額	6,701,833,843
保証金	33,479,380	純資産の部合計	60,100,492,154
敷金	270,000		
流動資産	5,648,765,358	負債及び純資産の部合計	65,027,318,849
現金預金	5,368,930,001		
未収入金	112,990,377		
有価証券	81,363,520		
前払金	27,849,844		
仮払金	57,631,616		
資産の部合計	65,027,318,849		

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産（基本金、繰越収支差額）の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

科目の説明	
資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日以後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輛等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等

負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給付引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等

純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

一 資産額		
1. 基本財産		
土地	大学敷地 他	337,887 m ²
建物	大学校舎 他	149,635 m ²
構築物	道路舗装 他	
教育研究用機器備品	パソコン 他	
管理用機器備品	学生寮厨房機器 他	
図書		
車両		
船舶		
建設仮勘定		
第2号基本金引当特定資産		
2. 運用財産		
現金預金		
退職給付引当特定資産		
減価償却引当特定資産		
校舎建設等引当特定資産		
創設準備引当特定資産		
電話加入権		
施設利用権		
保証金		
敷金		
未収入金		
有価証券		
前払金		
仮払金		
資産総額		

二 負債額		
1. 固定負債		2,211,909,832
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	407,070,000
退職給与引当金		1,744,965,708
長期未払金		59,874,124
2. 流動負債		2,714,916,863
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	47,760,000
未払金		117,120,801
前受金		2,434,215,438
預り金		115,820,624
負債総額		4,926,826,695

正味財産(資産総額－負債総額)	60,100,492,154
-----------------	----------------

監 査 報 告 書

平成30年5月16日

学校法人 福山大学

理 事 会 監 査
評 議 員 会 監 査

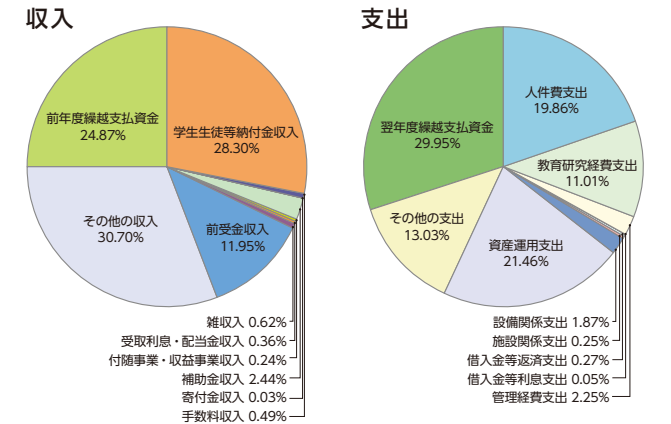
学校法人 福山大学

監 事 岸 保 昇 
監 事 元 波 利 二 郎 

私たちは、学校法人福山大学の監事として、私立学校法第37条第2項及び学校法人福山大学
附則付属第7条の規定に基づき、同法人の平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日
まで)における財産目録及び計算書類(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書地
含む)、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは
教育の政策、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは
教育の行いに違反する重大な事実の無いことを認めました。

監 査 長

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,767,027,159	人件費支出	3,561,222,521
手数料収入	99,693,500	教育研究経費支出	1,974,150,661
寄付金収入	6,948,340	管理経費支出	403,219,648
補助金収入	496,634,874	借入金等利息支出	9,302,425
資産売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	49,742,000	施設関係支出	45,467,780
受取利息・配当金収入	72,166,623	設備関係支出	335,063,609
雑収入	126,777,120	資産運用支出	3,847,000,000
借入金等収入	0	その他の支出	2,335,183,674
前受金収入	2,434,215,438	資金支出調整勘定	△ 81,070,643
その他の収入	6,256,440,186		
資金収入調整勘定	△ 2,531,074,957		
前年度繰越支払資金	5,067,659,393	翌年度繰越支払資金	5,368,930,001
収入の部合計	17,846,229,676	支出の部合計	17,846,229,676



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていないませんが、別途「資金収支調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等と調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料および各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄附者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助助成金
資産売却収入	帳簿残価のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債にならない収入
金銭等収入	返済期間が貸付対照日1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
借入金収入	翌会計年度以後の諸活動に対する収入を当該会計年度において資金収入したものの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対する収入で、が、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または前年度以降と異なる項目を調整する勘定科目

支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、実費費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
償却費支出	土地、建物、構築物等に係る取得に係る支出
設備関係支出	機器設備費、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特許資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,767,027,159
手数料	99,693,500
寄付金	10,342,666
経常費等補助金	458,377,874
付随事業収入	49,742,000
雑収入	126,777,120
教育活動収入計	6,511,960,319
事業活動支出の部	
人件費	3,613,436,391
教育研究経費	2,905,511,754
管理経費	459,178,053
徴収不能額等	0
教育活動支出計	6,978,126,198
教育活動収支差額	△ 466,165,879

教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	72,190,709
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	72,190,709
事業活動支出の部	
借入金等利息	9,302,425
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	9,302,425
教育活動外収支差額	62,888,284
経常収支差額	△ 403,277,595

特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	38,257,000
特別収入計	38,257,000
事業活動支出の部	
資産処分差額	0
その他の特別支出	0
特別支出計	0
特別収支差額	38,257,000

基本金組入前當年度收支差額	△ 365,020,595
基本金組入額合計	△ 816,645,459
當年度收支差額	△ 1,181,666,054
前年度繰越収支差額	7,883,499,897
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	6,701,833,843

(参考)	
事業活動収入計	6,622,408,028
事業活動支出計	6,987,428,623

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動（教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動）に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料	入学決定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付金を加えた額（施設設備に係る寄付は除く）
経費等補助金	国や地方公共団体に交付された補助金（施設設備に係る補助金は除く）
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を上越した場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入

事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給付引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅交通費、奨励費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以上に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
徴入金等利息	前入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を売却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出

その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

平成31年度 入学試験日程 A O 入試

	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
I 期	9月29日(土)	経営 福祉健康	9月22日(土)～ 9月26日(水) 必着	10月 5日(金)	10月12日(金)
II 期	12月15日(土)		12月 3日(月)～12月11日(火) 必着	12月20日(木)	12月27日(木)
III 期	3月 8日(金)		3月 2日(土)～ 3月 6日(水) 必着	3月14日(木)	3月25日(月)
●エントリーシートの提出	I 期 8月 1日(水)～9月 1日(土)		II 期 10月 9日(火)～11月12日(月)	III 期 1月 7日(月)～2月 9日(土)	
●面談結果通知	I 期 9月14日(金)		II 期 11月29日(木)	III 期 2月25日(月)	

一般選抜試験

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
推薦入試 A 日程	11月 6日(火)・7日(水)	全学部	10月18日(木)～11月 1日(木) 必着	11月10日(土)	11月22日(木)
推薦入試 B 日程	12月 8日(土)	全学部	11月22日(木)～12月 4日(火) 消印有効	12月12日(水)	12月20日(木)
前期入試 A 日程	1月31日(木)・2月1日(金) 2月 2日(土)・2月3日(日)	全学部	1月 7日(月)～ 1月25日(金) 消印有効	2月 9日(土)	2月18日(月)
前期入試 B 日程	2月20日(水)	全学部	2月 5日(火)～ 2月15日(金) 消印有効	2月23日(土)	3月 4日(月)
後期入試	3月 9日(土)	全学部	2月25日(月)～ 3月 5日(火) 消印有効	3月13日(水)	3月25日(月)
センター利用入試(前期)	個別学力試験は課さない	全学部	1月 7日(月)～ 1月25日(金) 消印有効	2月 9日(土)	2月18日(月)
センター利用入試(後期)	個別学力試験は課さない	全学部	2月25日(月)～ 3月 5日(火) 必着	3月13日(水)	3月25日(月)

※備考:平成31年度 大学入試センター試験日程 1/19(土)・1/20(日)



Open Campus オープンキャンパス

本学では、高校生や保護者の方に、学内の施設見学や模擬講義、実習・演習を体験してもらうために、6月23日(土)から見学会および体験入学会を実施しています。「見学会」では、全天候型陸上競技場や人工芝サッカー場を始め、34種47台のマシンを設置してあるトレーニングルーム、2棟ある体育館、最新設備の整った看護学部棟、平成27年3月に増築したこども学科棟などの施設見学を主に行います。また「体験入学会」では、全体会で入試日程や入試方法の説明が行われた後、各学科に分かれて模擬授業ならびに模擬実習・演習を行います。各学科での模擬実習・演習では、本学学生も参加し、高校生にも分かり易いよう、親切丁寧に指導していきます。なお、オープンキャンパスは、下記の日程で実施されています。

見学会

第2回 9月 1日(土)

第3回 3月16日(土)

体験入学会

第2回 8月18日(土)



編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)
発行 福山平成大学
発行日 2018年8月1日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>